

ランチョン／スイーツセミナーのご案内

《ランチョンセミナー整理券について》

ランチョンセミナーの整理券を下記の時間帯に配布いたします。
なお、数に限りがございますので、無くなり次第終了とさせていただきますのでご了承ください。

配布場所：鹿児島市民文化ホール2階・エントランスホール

配布時間：21日(月) 9時～11時 (無くなり次第終了)

22日(火)・23日(水・祝) 8時～11時 (無くなり次第終了)

配布方法：各日、開催日のランチョンセミナー分を配布します

ランチョンセミナー 1

共催：アライドテレシス株式会社

日時：11月21日(月) 12時15分～13時15分

会場：C会場 (鹿児島市民文化ホール4階・市民ホール)

演題名：初心者向け病院ネットワークの基礎知識ークラウド時代の院内LANー

演者：小田 直之 (アライドテレシス株式会社 上級執行役員)

ビジネスエンジニアリング本部長)

病院では様々な情報システムが稼動していますが、統合された院内LAN上ですべて運用が可能になり、経済性だけでなくシステム間の連携により利便性も大きく向上しました。また、今後のクラウド技術の進展で、院内LANの整備がより必要になっています。

反面、院内LANの停止は病院運営自体に関わる問題です。このため、病院機能評価はVer.6.0から情報システム管理に関する項目が新設され、情報システムのインフラとしてのネットワークの重要性の認識が高まっています。

本セミナーはこれまで好評を頂いたセミナーをより平易にし、病院ネットワーク設計・構築・運用のポイントを前提知識なしに理解出来る内容としました。

院内LAN入門として構築の落とし穴やクラウド連携の実例、次世代ナースコールについても紹介します。

ネットワークのセキュリティ対応、無線LAN、手術室等の動画像配信については、11/22のスイーツセミナー「最新の病院ネットワーク技術と導入事例」で詳しく説明します。

ランチョンセミナー 2

共催：インテル㈱／プランテックコンサルティング㈱

日時：11月21日(月) 12時15分～13時15分

会場：E会場 (鹿児島サンロイヤルホテル1階・エトワール)

司会：青木 正人 (株式会社プランテックコンサルティング)

演者①：山野辺 裕二 (国立成育医療研究センター 情報管理部 情報解析室長)

演題名①：エネルギー含めた病院情報システムインフラの運用最適化

演者②：森永 一郎 (株式会社プランテックコンサルティング 代表取締役)

：稲本 淳平 (株式会社クオリクス 代表取締役兼執行役員社長)

演題名②：ファシリティ・マネジメント (施設と環境を総合的に企画、管理、活用する経営活動) の導入による戦略的な病院運営

電力供給の悪化に伴い消費電力抑制が叫ばれる中、国立成育医療研究センター (東京都世田谷区) にて行った病院情報システム端末の消費電力削減の実証実験事例を紹介する。インテル vPro プロセッサ搭載 PC と PC 電源管理ツールを使用して、24 時間稼働の病棟端末を対象に省電力ポリシーを適用し、最大 36% の消費電力削減が可能なることを実証した。

今後も続くと思われる事業者に対する電力需要抑制へむけて、電源管理ツールとファシリティマネジメント支援システムを組み合わせて利用することで、病院情報システムインフラの運用を最適化するソリューションを発表する。

ランチョンセミナー 3

共催：富士フイルムメディカル株式会社

日時：11月21日(月) 12時15分～13時15分

会場：F会場（鹿児島サンロイヤルホテル2階・高隈の間）

テーマ：「地域医療連携システムの構築と運用について」

演題名①：C@RNAシステム導入の背景と検討

演者①：村蒔 弘子（大阪府立急性期・総合医療センター 看護部 看護師長）

演題名②：C@RNAシステム運用状況と今後の展開

演者②：春岡 登志子（大阪府立急性期・総合医療センター 地域連携室 室長）

大阪府急性期・総合医療センターは大阪府立病院機構の一員として、公的使命を果たしつつ、高度専門医療の提供を目指してきました。すなわち救命救急医療、循環器医療などの急性期医療、がん、腎移植などの高度専門医療、他の医療機関では対応が困難な合併症医療、さらにはパーキンソン病などの難病医療等々に積極的に取り組んできました。

さらに当センターは、他の医療機関との役割分担と連携のもとに、府民の生命と健康を支える医療機関として、種々の改革に取り組み、平成20年11月に地域医療支援病院の承認を受けました。当センターは地域の医療機関さまとさらに親密な連携を推進する一環として地域医療連携サービス「カルナコネクト」を導入し、当センターの各診療科の専門医による外来診療をインターネット環境下で24時間365日いつでも時間をかけずに予約できるようになりました。本セミナーではシステム導入時の検討、並びに現運用状況を発表致します。

ランチョンセミナー 4

共催：メルエネットワークス株式会社

日時：11月21日(月) 12時15分～13時15分

会場：G会場（鹿児島サンロイヤルホテル2階・開間の間）

司会：遠藤 廣司（メルエ・ネットワークス株式会社

リージョナルセールスマネージャー）

テーマ：接続できない、間違いだらけ？の病院内無線LAN

～医療クラウド、スマートデバイスで広がる超簡単ユビタスネットワークとは～

演題名①：病院での利用における無線LANの問題点原因究明と

弊社のソリューション

演者①：中西 良夫〔メルエ・ネットワークス株式会社シニアシステムエンジニア〕

演題名②：福井大学病院におけるクラウド、

仮想化による超簡単ユビタスネットワーク

演者②：山下 芳範（福井大学医学部附属病院 医療情報部 副センター長）

演題名③：病院におけるシステム構築の実績

演者③：清水 昇（株式会社ネットマークス 第三営業統括部 第三営業部 部長）

医療現場では近年無線LANが、電子カルテ、医療器材管理などさまざまな端末との通信手段となっております。

しかし、現実的には院内で電波が届かない！利用途中に接続が切れる！反応が遅い！アクセスポイント間で接続が頻繁に変更れる！といった利用者の声が多く、わざわざナースステーションまで戻って有線LANに接続して入力する、あるいは無線LANは不安定だからLANケーブルを配線しよう、といった病院の方がおります。

この原因は为什么呢？

本セミナーではこの原因を究明し問題をわかりやすく、解説させていただき、その解決策をご提供いたします。また、今後の病院内のシステムはどういった方向に進むべきかを医療クラウド、仮想化の観点から福井大学医学部附属病院のユビタス無線LAN事例を紹介いただき、病院内でも簡単にできる無線LANの利活用方法を説明します。

ランチョンセミナー5

共催：GEヘルスケア・ジャパン株式会社

日時：11月22日(火) 12時25分～13時25分

会場：B会場（鹿児島市民文化ホール・第2ホール）

司会：松村 泰志（大阪大学医学部附属病院 医療情報部）

テーマ：医療IT化の活用事例

演題名①：Thin-Client Computing を適用した病院システムにおける

文書・診断画像の取扱い

演者①：寺本 圭（鳥取大学医学部附属病院 医療情報部）

演題名②：CDS を用いた統合的医療情報環境の構築と運用

演者②：佐々木 康夫（岩手県立中央病院 副院長）

ランチョンセミナー6

共催：日本オラクル株式会社

日時：11月22日(火) 12時25分～13時25分

会場：C会場（鹿児島市民文化ホール4階・市民ホール）

司会：山野辺 裕二（国立成育医療研究センター 情報管理部 情報解析室長）

演題名：病院の機能を加速させるSOA+BPM+BI

～臨床現場と共に成長するシステムはこう創る～

演者：澤 智博（帝京大学 医療情報システム研究センター 教授）

病院情報システムの普及が進むと共に、機能のパッケージ化、導入手法のテンプレート化が図られている。特にオーダーリングシステムについては、十分に成熟したものと認識され、大きな変革は見込めないようにも見える。

Service Oriented Architecture (SOA)、Business Process Management (BPM) に代表されるシステム構築手法は、企業を対象としたエンタプライズシステムで採用され、成果を上げてきている。これらの特徴は、業務プロセスをリアルタイムに可視化することで、現場から管理者までの全ての社員に必要な情報を提供し、意思決定やアクションを強化することである。さらに、システム機能やサービスを柔軟かつ迅速に組み替えることができるため、業務プロセスの継続的な改善を強力に支援する。そして、企業体のパフォーマンスは、統合的に Business Intelligence (BI) によって最適化されている。

このようなシステム構築手法は、病院情報システムの機能にも大きなブレークスルーを与え、新たな付加価値を生むであろう。

本セミナーでは、最新のエンタプライズシステムの構築手法を基礎から解説し、病院情報システムへの応用を模索する。

ランチョンセミナー7

共催：株式会社ピーエスシー

日時：11月22日(火) 12時25分～13時25分

会場：F会場（鹿児島サンロイヤルホテル2階・高隈の間）

テーマ：フル電子カルテ運用の障壁を打ち破る！

司会：森川 富昭（徳島大学医学部・歯学部附属病院

病院情報センター センター部長 病院教授）

演題名①：電子カルテ化を生かした耳鼻咽喉科診療

～わかりやすく使いやすい眼振・手術動画記録をめざして～

演者①：工 穰（信州大学医学部耳鼻咽喉科）

耳鼻咽喉科診療における電子カルテ化はどの医療機関においても大きな問題であり、特に大学病院や市中病院では自科検査が多様である上に、メディアやファイリングが不統一（紙、アナログ、デジタル、DICOM データなどが混在）であるため一元管理が極めて困難であり、積み残しされるケースも少なくない。主な問題点は、1.自科検査が多く一元化が困難、2.画像が多く動画記録や動画プレゼンテーションまでは困難、3.描画が困難であるためインフォーム

ドコンセントが行いにくい、などが挙げられる。当院ではそれら問題点を解消するために他科と共同で部門システムを導入し改良を進めている。このシステムでは様々な検査機器に直接接続して検査データを取り込み、そのデータを一元管理することを可能にし、また取り込んだ画像ファイルやシェーマに直接描きながら説明することができ、強力なインフォームドコンセントツールにもなっている。今回は特に、めまい診療における眼振記録の改善や、手術プレゼンテーションの改善を中心に、電子カルテ化を生かした当科部門システムを紹介する。

演題名②：PSC システムソリューション最新事例紹介 PowerPDI+ MoveBy

演 者②：長谷川 裕明（株式会社ピーエスシー 取締役 東京支店長）

今まで院内運用の中で難しいとされてきた部分を、PSCシステムソリューションにて解決をしてきました。そのソリューションにおける工夫や技術を最新事例をまじえ、ご紹介させていただきます。

本プレゼンテーションでは、初診時に持ち込まれる紹介状やDISK媒体（CD）の取込や運用方法について、一例として説明いたします。

これからの院内運用の新しい方法がこのプレゼンテーションで分かります。

ランチョンセミナー8 共催：インターシステムズジャパン(株)／(株)ネットマークス

日 時：11月22日(火) 12時25分～13時25分

会 場：G会場（鹿児島サンロイヤルホテル2階・太陽の間）

司 会：嶋 芳成（日本ダイナシステム株式会社）

演題名①：電子カルテ時代における地域医療連携推進からみた DWH への期待

演 者①：本多 正幸（長崎大学病院）

演題名②：医療情報データ二次利用システムの導入と活用事例

演 者②：杉村 雅文（国立成育医療研究センター）

演題名③：ネットマークスの医療分野における取組み

演 者③：川田 康友（株式会社ネットマークス）

この数年で着実に広がりつつある電子カルテを始めとした病院情報システム（HIS）の活用。すでに医療機関には膨大な医療データが電子化されて蓄積されており、これらをいかにして安全に運用するかが重要な課題になっている。その一方で医療データを適切な形で二次利用しようという取組みも積極化している。蓄積された医療データの分析から得られた知見によって、より効果的な治療法や生活習慣と発病との関係等、新たな発見が可能になると期待されているためである。

長崎大学、国立成育医療研究センターでは、ネットマークスが構築した Cache（キャッシュ）を利用した二次利用システムを採用している。これらの医療機関では、大規模かつ複雑な検索条件を試行錯誤しながら高速に検索結果が得られることが重要視されており、その先進的な事例を紹介する。

ランチョンセミナー9

共催：マイクロソフト株式会社

日 時：11月23日(水・祝) 12時25分～13時25分

会 場：E会場（鹿児島サンロイヤルホテル1階・エトワール）

演題名：医療機関におけるクライアント仮想化ソリューションご紹介

及び構築事例について（仮題）

演者①：遠山 仁啓（日本マイクロソフト株式会社

パブリックセクター統括本部 テクノロジーソリューション本部）

演者②：原口 亮（国立循環器病研究センター

研究開発基盤センター知的資産部 IT戦略室長）

多くの医療機関に見受けられる基幹系と情報系に分けられた医療系システムにおいて医療の質、患者サービスの向上を目指す為にもニーズが高まってきている、インターネットへの外部接続を可能にするクライアントの仮想化（リモートデスクトップサービス）、また院内のどの端末からも自分専用のデスクトップを呼びだして、インターネット接続やアプリケーションの実行を可能にする Microsoft VDI（Virtual Desktop Infrastructure）のご紹介を通じて、医療現場での効果的な IT の活用法をご説明します。

また、実際本ソリューションを構築いただいている医療機関の先生をお招きし、具体的な取り組みと今後の展望についてご紹介いただきます。

ランチョンセミナー 10 **共催：日本電気株式会社／日本オラクル株式会社**

日 時：11月23日(水・祝) 12時25分～13時25分

会 場：F会場（鹿児島サンロイヤルホテル2階・高隈の間）

司 会：中安 一幸（厚生労働省 政策統括官付 社会保障担当参事官室 室長補佐）

演題名：地域医療情報連携システムと標準化

～IHE 対応ソリューションのロードマップ～

演者①：斎藤 直和（日本電気株式会社 医療ソリューション事業部）

演者②：伊藤 龍史（株式会社エスイーシー）

演者③：高橋 道也（オラクルコーポレーション 医療ライフサイエンス事業部）

現在、地域医療再生基金をきっかけとして全国的普及の兆しを見せている地域医療情報連携システムは、二次医療圏単位から三次医療圏単位への広域化が期待されている。

現状、そのシステムの多くは医療圏内施設が公開する情報の相互参照型（あるいは分散サーバー型）であるが、情報の蓄積による疾患管理、統計情報の確認、といった新たなニーズや展開も散見される。

また、今年3月の震災後は診療情報の災害時対応へのニーズも高まりを見せている。

これらを背景に、本セミナーでは新たなステージに進展しつつある日本の地域医療情報連携において、今後求められるシステムアーキテクチャと広域化に伴うグローバルスタンダード対応について、地域医療情報連携システムに関わる関係者によるパネルディスカッションにてその方向性を探る。

ランチョンセミナー 11 **共催：株式会社大黒 大黒グループ**

日 時：11月22日(水・祝) 12時25分～13時25分

会 場：H会場（鹿児島サンロイヤルホテル2階・開間の間）

テーマ：統一マスターの必要性とその効果

－長崎大学病院での精度管理向上と効率的物流システム－

司 会：本多 正幸（長崎大学病院 医療情報部）

演題名①：病院収支分析とその精度向上のための課題としての統一マスターの必要性

演 者①：浅田 眞瑞（長崎大学病院 医療情報部）

演題名②：統一マスターメンテナンス運用と手術部での実際運用と予想効果

演 者②：徳田 真一（株式会社大黒）

《スイーツセミナー整理券について》

スイーツセミナーの整理券を下記の時間帯に配布いたします。
なお、数に限りがございますので、無くなり次第終了とさせていただきますのでご了承ください。

配布場所：鹿児島市民文化ホール 2 階・エントランスホール
配布時間：21 日(月)・22 日(水・祝) 11 時～（無くなり次第終了）
配布方法：各日、開催日のスイーツセミナー分を配布します

スイーツセミナー 1

共催：(財)日本医薬情報センター

日 時：11 月 21 日(月) 15 時 20 分～16 時 20 分
会 場：H 会場（鹿児島サンロイヤルホテル 2 階・開聞の間）
司 会：横井 英人（香川大学 医学部附属病院 医療情報部 教授(部長)）
演題名：市中病院での「医薬品と対応病名システム(病名ナビ)」導入の意義・有用性
演者①：明石 浩史（北海道済生会小樽病院
内科部長 兼 札幌医科大学医療人育成センター客員准教授）
演者②：友光 寛之（北海道済生会小樽病院
事務部医事課医事係主事補(医療情報技師)）

済生会小樽病院は小樽の北西部手宮地区にある常勤医師数21名、病床数287床の急性期病院である。当院は平成25年に新築移転に向けて院内情報化と経営改善に取り組んでいる。その一環としてJAPIC「医薬品と対応病名検索システム」LAN版を導入した。現在当院は紙ベースでのカルテ運用であり当面は独立したシステムとしてレセプト請求時に医師、医事課職員が利用しているが、「標準病名」を簡単に検索できることで作業の効率化、正確化につながっている。利用を通して現在取り組んでいる院内情報化に向けて「標準化」の意義、効用に関して職員への啓発につながると考えている。また今後導入予定の病院情報システムとの連携についても検討中である。今回の発表では当院で導入した「医薬品と対応病名システム」LAN版の機能についての概要、運用方法、利用状況などに関して報告するとともに、当院の情報化の取り組み全般についても報告する。

スイーツセミナー 2

共催：日本電気株式会社

日 時：11 月 21 日(月) 16 時 50 分～17 時 50 分
会 場：G 会場（鹿児島サンロイヤルホテル 2 階・太陽の間）
司 会：山口 琢也（NEC 医療ソリューション事業部）
演題名：指示のシステム化を制する者は、電子カルテを制する
演者①：宇都 由美子（鹿児島大学病院医療情報部）
演者②：武田 理宏（大阪大学病院医療情報部）

医療安全など医療の質保証の点からチーム医療の推進は極めて重要である。チーム医療の円滑な推進には、医師の指示が正確・迅速にチームメンバーに伝達され、適切に実践され、それらを確実に記録に残す必要がある。しかし、指示のシステム化には幾つもの課題がある。①指示の範囲が多岐にわたり、分類整理できていない。②「医師の指示に基づいて」という原則がシステム上遵守できない場合の遡及方法が難しい。③物（薬剤や採血管等）を取り寄せるという発想でシステム化されてきた。④指示のシステム化を最も困難にしている原因は、病院業務の標準化、及び医師・看護師間で指示に対する役割分担の明確化が遅れている点にある。

指示のシステム化は、従来のオーダの手順や一般的な留意点が通用しないことを意識する必要がある。すなわち、これまでに積み上げられてきた全てのシステムに網掛けをするようなシステム開発が必要と言えよう。

スイーツセミナー3

共催：アライドテレシス株式会社

日時：11月22日(火) 15時20分～16時20分

会場：H会場（鹿児島サンロイヤルホテル2階・開聞の間）

演題名：最新の病院ネットワーク技術と導入事例

ーネットワークセキュリティ、無線LAN、次世代ナースコールなどー

演者：入江 広樹（アライドテレシス株式会社
ビジネスエンジニアリング本部 西日本SE グループ 部長）

電子カルテやPACSの導入等、医療情報のIT化の進展でその情報を最大限に利活用するためのインフラである院内LANも広がりや深まりを見せています。

一方、運用管理面・セキュリティ・利便性を向上させる機能を搭載したネットワーク機器を導入しているにも関わらず、その機能の十分な理解が無いまま導入されることで、性能を発揮出来ていない例も散見され、ネットワーク機器の機能・性能を把握した上でいかに院内LANシステムとして使いこなすかが重要です。

本セミナーでは院内のネットワークセキュリティ、無線LANシステム、動画ネットワークシステムの3つの先進的な機能について、技術的な解説とその適用について事例とともに平易に説明します。また、次世代ナースコールも紹介します。

11/21のランチョンセミナー「初心者向け病院ネットワークの基礎知識」と併せて受講頂くことで、院内LAN全般の知識をより向上させられます。